



美しい木々の芽吹きを背景に。作業を終えて、おつかれさま～！



オーナーの沖野さん。

当日は、コバノミツバツツジが満開。天気も良く、ボランティア日和の中、展望台周辺斜面の景観整備を行いました。作業は4班の編成で、主に、枯れた松やコナラ、倒れたままになっている松の伐採、ソヨゴやヒサカキの除伐を

行いました。

特にA班D班は急斜面での作業で、面積も広く結構なハードワークでした。B班C班は、雑木の除伐をメインに行いましたが、前回やり残した展望台までの遊歩道周辺の棚積みも、綺麗に積みなおしました。さらに今回は、各班に新入会員を配置、交代で一人一回はチェーンソーの体験ができるように指導も併せて行い、振り返りのミーティングでは、「今度は玉切りではなく木を倒してみたい」と、頼もしい発言も聞かれました。ただ残念なことに、ベテランのひとりが、急斜面で足場の確保には充分注意していたにも関わらず、伐倒中に足を滑らせて落ちるといったヒヤリハットがおきました。咄嗟にロックをかけ事なきを得ましたが、ロープで身体の保持をすべきであったと反省。また、他にも、かかり木となった枯れ枝が落下したり、伐倒方向にうまく倒れずといったヒヤリハットが報告。安全監視員のさらなる責務の大切さなども含め、検証を重ね次の機会に教訓を活かしていきたいと思っています。

昼食は、オーナーの沖野さんのご厚意により、おむすび、猪汁、焼きそば、焼き肉(猪肉)と豪華メニューが揃いました。料理を担当した皆さんに感謝します。皆が、思い思いの場所でくつろぎながら楽しそうに食べる姿にホッとひと息です。



すがすがしい朝のミーティング。伝達事項をしっかりと共有！



遊歩道看板には沖野さん、倶楽部の名前が。

最後に、現地を見られ「大変見晴らしが良くなりました」と、沖野さんから感謝の言葉をいただきました。美しい緑に囲まれた「ゆとりの森」は、誰でもが自然を体験し集える場所として、沖野さんが長年の歳月をかけて、コツコツと切り拓いて創ってこられた場所です。「北広島町 南方 ゆとりの森」で検索してみてください。



ゆとりの森・遊歩道山頂にて



見守られながら玉切りの指導を受ける。



頼もしい新入会員のみなさん。振り返りミーティングにて



イヤマフも忘れないで。コナラを倒す



ロープワークを学ぶ